

令和4年度長崎県保健医療対策協議会がん対策部会  
大腸がん委員会 議事概要

日 時：令和4年11月11日（金）18：30～20：00

場 所：長崎県庁 3階 305会議室

出席者：中尾委員長

澤井委員、宿輪委員、船本委員、星子委員、本田委員（五十音順）

(1) がん検診に係る各目標指標について

資料1により事務局から説明。

他のがん種と比べ、大腸がんは精密検査受診率等の数値が低いことを確認した。全国的にも大腸がん関連の数値は低い傾向にあるため、検査の方法などが影響しているのではないかとの意見がだされた。

(2) 事業評価のためのチェックリストについて

資料2により事務局から説明。

精密検査医療機関の一覧表の提示について、長崎県の実施率は全国と比べ低いが、現在検討を続けている精密検査医療機関登録制度の導入により実施率が向上するのではないかとの意見がだされた。

(3) 長崎県内の大腸がん検診の実績について

資料3により事務局から説明。

要精検率が許容値よりも高い市町が多い原因として、有症状者が検診を受診しているのではないかとの意見がだされた。人口構成等が似ている市町のがん検診受診率等に差があるため、こういった要因を分析できれば受診率向上につながるなどの指摘があった。

(4) 精密検査実施機関登録制度 比較調査について

資料4により事務局から説明。

比較項目調査の実施に際し、再検査を便潜血検査で行った件数を調査項目に加えたほうがよいとの意見がだされた。

(5) 長崎県がん対策推進計画 中間評価について

資料5により事務局から説明。

第4期計画策定の際には、職域検診に関する項目を取り入れた方がよいとの意見をいただいた。